

## 令和2年度（麻生養護学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 項目・目標別実施結果

| 項目                                 | 目標  | 実施結果と目標の達成状況  |
|------------------------------------|---|---|
| ① 法令順守意識の向上                        | ・公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底。   | ・教育局が作成・配付する不祥事防止啓発・点検資料を基に、校内掲示板を活用し、毎月各自点検することで、公務員としての自覚を促した。                                      |
| ②職場のハラスメントの防止                      | ・教職員アンケートの継続的な実施。   | ・アンケートの調査に加えて、職員会議等の機会を通してパワーハラスメント、セクシャルハラスメント等の内容を具体的に明示し、職員のハラスメントに対する意識を高めた。                      |
| ③児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止           | ・児童・生徒の人格を尊重した指導を行う。  | ・個別教育計画を基に、児童・生徒個々の障害の特性に応じた手立てを踏まえ、複数で対応するよう意識啓発や体制づくりに取り組んだ。<br>・教室等が密室化しないよう、窓等から内部を確認できる環境を維持した。  |
| ④体罰、不適切な指導の防止                      | ・人権尊重に根付いた指導を行う。<br>・児童・生徒の実態にあった指導を徹底する。   | ・職員会議で具体的な事例を用いて、体罰、不適切な指導についての理解を深め、その防止に努めた。  |
| ⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 | ・電子データ及び紙ベースの適正な管理を行う。<br>・進路先への情報提供について、適切な取扱いを依頼するとともに、確実な回収を行う。                | ・文書の記載内容については、複数でチェックし、ミスの防止に努めた。保管・管理については、手順を再確認した上で、その手順に沿って対応した。<br>・進路先へ提供した情報については、確実に回収を行った。   |
| ⑥個人情報等の管理、情報セキュリティ対策               | ・個人情報等の管理、パスワードの設定、誤廃棄防止、メールアドレス等の取得・管理、児童・生徒とのSNS等の利用の禁止、情報セキュリティ対策を徹底し、事故防止を図る。 | ・個人情報を校外に持ち出す場合の手続き、メールアドレス等の取得・管理等、個人情報の取扱いについてルールを周知、徹底することで、個人情報を取り扱う意識を高め、事故防止に努めた。               |
| ⑦交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守       | ・法令遵守と安全運転の実施で、交通違反や事故のない職場を目指す。  | ・事故防止会議、職員会議等において、安全運転の励行、交通法規の遵守・事故の際のとりべき行動等について、計画的に周知を図った。加えて、そうした事例があった際には、その都度、職員間で情報共有した。      |
| ⑧業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）  | ・業務を組織的・計画的に遂行する体制づくり、情報共有、相互チェック体制、業務協力体制の構築により、不祥事を未然に防止する。                     | ・配付物について複数名でダブルチェックする業務体制を取ることを随時周知し、誤配付等を防ぐことに努めた。<br>・業務を進めるにあたり、目的を明確にし、使いやすさ、わかりやすさを工夫して環境整備を進めた。 |
| ⑨財務事務等の適正執行                        | ・公費、私費会計等に関する事故を未然に防止する。  | ・校務分掌における私費会計係を中心に、全職員で手順に従った適切な会計処理、複数名でのダブルチェックを行い、事故防止に努めた。  |

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

令和2年度は、取り組むべき課題の意義、目的を明確にし、改善に取り組んできた。職員の事故、不祥事防止に対する意識は高まってきているが、今後も不祥事防止に向けた取組を工夫して継続していくことで、職員の意識の維持向上を図ることが必要である。

令和3年度は、引き続き「人権を尊重した指導」と「事故不祥事が生じにくい業務体制・業務方法の工夫」をめざして取り組んでいきたい。